

2016年  
全国専門学校共同入学者調査  
掲載記事

企画：一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会  
企画・開発・調査分析：(株)応用社会心理学研究所

「専門学校新聞」  
2016年9月15日付 第9面に  
掲載されました

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会(福田益和理事長)は9月1日、今春の専門学校入学者の進学動向を探った「2016年全国専門学校共同入学者調査」を公表した。

オリエンテーションなどを活用して調査を実施した。専門学校生を対象にしたこれほどの大規模な調査は全国でも珍しい。主な内容は次の通り。

この調査は、専門学校入学者による進学活動の実態把握と、専門学校教育の質の向上並びにより良い進路選択の実現に向けた取り組みに役立てることなどを目的に、新学期開始前後の3~5月に実施した。専門学校入学者の約3・8%に当たる全国61校1万118人の学生を対象に設問1~15項目で調査を行った。2009年度からこの調査は毎年実施され、今年度は8年目を迎えた。各専門学校で入学前後の時期に行われた

大専各/入学者調査

入学者の8割が専門学校を高く評価

3人に1人が大学等も同時に検討

「あまりそう思わない」(0・6%)「まったくそう思わない」(0・2%)は合わせて入学者の1・6%。ほかに「どちらともいえない」が4・8%あった。また「総合的に評価してよい学校だ」と回答した学

「入学した専門学校を勧めるか」を聞いたところ、「非常にそう思う」(41・4%)「わりとそう思う」(31・1%)を合わせると7割を超え、入学校に対する評価の高さをこの調査から読み取ることができる。「ややそう強い関心を持っている。

「入学者の検討プロセス」人々が大学や短大を進学先として検討していたことが明らかになった。

【入学者の将来展望】「将来の仕事に就いてどの程度決めているか」という設問に対して、「はっきり決めている」(19・8%)「ほとんど決めている」(32・3%)「何となく決めている」(34・2%)で、約9割近くの学生が将来の仕事について方向性を決めているようだ。「あまり決めている」(7・9%)「まったく決めていない」(1・9%)は少数だった。

生は、「非常にそう思う」(36・6%)「わりとそう思う」(42・9%)を合わせると8割近くを占め、入学した専門学校を高く評価していることがうかがえる。

【入学者を勧めたいか】「入学者を勧めたいか」を聞いたところ、「非常に勧めたい」(13・9%)「どちらともいえない」(11・1%)を合わせると2割近くを占め、入学した専門学校を高く評価していることがうかがえる。

【学習設備・教員・就職に対する評価】入学者は学校の「学習設備」「先生の熱意」「就職支援体制」などを高く評価している。入学者の検討プロセスは、8割以上の学生は入学校以外の進路や学校を検討していた。検討した中で最も多いのは「入学校以外の専門

【入学校の認知ルート】4人に1人が「進学情報サイト・検索サイト・学校HP」などのWEBサイトを通じて入学校を「初めて知った」と回答。入学校を初めて知ったのは「口コミ」(34・8%)、ガイダンスやオープンキャンパス等の「イベント」(18・5%)、「携帯・スマホ」(13・2%)、「PC」(11・5%)、「進学情報誌」(5・5%)の順だった。